



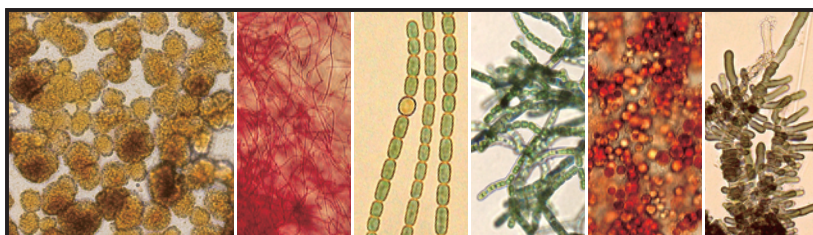
村上明男（神戸大学 自然科学系先端融合研究環 内海域環境教育研究センター）

海洋に生育する藻類は、植物と同じ酸素発生型の光合成システムをもち、地球上の生態系を支える一次生産者です。そのシンプルな見かけのために、藻類は実験生物学の研究対象としては目立たない存在です。しかし、系統群ごとに獲得したカラフルな光合成色素、精緻な構造と未知の機構をもつ鞭毛、無脊椎動物とのユニークな共生機構など、藻類には他の生きものには見られない様々なからくりが秘められています。私は、自然豊かな海に囲まれた淡路島を拠点として、藻類を中心に **生物と光の関わり** についての解明を進めています。

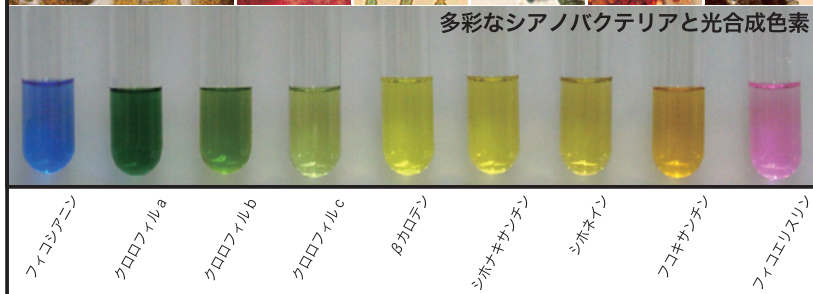
連絡先✉ akiomura@kobe-u.ac.jp

主な研究テーマ

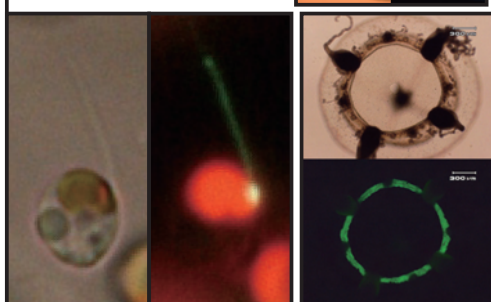
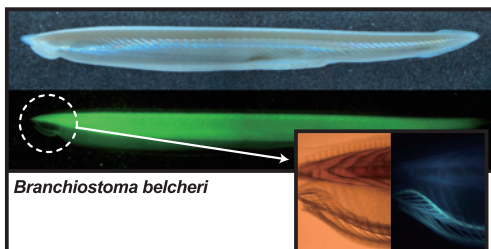
- ・光合成色素系の多様化・分子生理・環境応答
- ・鞭毛運動制御の分子機構
- ・淡水産紅藻の好塩性機構
- ・共生型生活史をもつ微細藻の生理生態
- ・緑色蛍光物質の構造と機能



多彩なシアノバクテリアと光合成色素



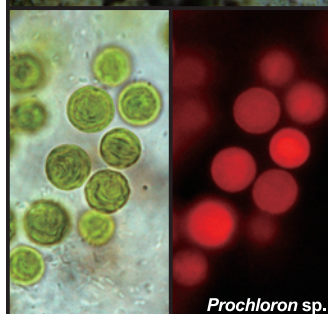
渓流域の稀少原始紅藻類 *Bangia* sp.



海産動物の緑色蛍光物質



Lissoclinum timorense



Prochloron sp.

